

# 議会だより にしあいづ

2006.5.8

発行：福島県西会津町議会  
編集：議会広報発行対策特別委員会  
〒969-4495  
福島県耶麻郡西会津町野沢  
字下小屋上乙3261  
TEL 0241-45-4537



長生きのひけつは！ 三橋長一さん（96歳） 縄沢

一般会計当初予算48億8500万円…2P

公の施設の指定管理者決定…6P

前年当初予算比10.1%減

まちの考えを

問う…8P

6人

●特別会計・条例…4・5P

●17年度補正予算…7P

●さわやかハッピー…11P

# 一般会計

# 総額48億8500万円

# 10.1%減 (5億4700万円)

# 3月 定例会

3月議会定例会は、3月10日から20日までの11日間にわたり開かれました。平成18年度一般会計、10特別会計、水道事業会計の当初予算、条例改正、平成17年度補正予算や指定管理者の指定など52議案を審議し、請願・陳情7件議会運営委員会提出の意見書案を含め、原案のとおり可決しました。

## 平成18年度各会計予算

## 厳しい行財政運営

平成18年度一般会計予算は、前年度と比較し10・1%減となりました。歳入では、地方交付税、国庫支出金、県支出金など総額5億4700万円の減額となりました。歳出では、地上デジタル化整備事業、トータルケア推進事業、園芸ハウス整備など健康な土づくり事業、テレワークセンター関連事業など自立や特色のある町づくりを進めながらも歳出抑制の厳しい行財政運営が求められる予算となりました。

### 財政

### 質疑

**問** 指定管理者制度導入による財政的影響は。

**総務税政課長** 13の施設で740万円程度の財政的軽減になる。

**問** 予算編成の基本的考えは。

**総務税政課長** 前例踏襲型から自立の

**問** 滞納、不能欠損の対応は。

**総務税政課長**

過年度分滞納収納率は、個人町民税（9.7%）、固定資産税（11・7%）、総額2053万円で償却資産が大部分を占める。不能欠損はどうしても収納できない場合のみで税の公平性の点から収納に

努める。差し押さえ等も考えた基本方針を立て不能欠損を防止する。

**問** 町長交際費400万円は、隣接町村と比較して多い。算出根拠は。需要費、食糧費でも計上可能か。

**総務税政課長**

対外的な関係において必要な経費であり、400万円は最低限必要とする額である。今後は町づくり委員会でも検討していく。定義に基づき支出し、交際費一本で支出する。

### 町づくり委員会

**問** 町づくり委員会の基本姿勢と方向づけは。

**まちづくり政策室長**

町民を含めた立場と責務を担うルールづくり。町民・議会・行政が新しい町民主体の町づくりを検討する。

**問** 町づくり委員会の性格と議決権は。

**総務税政課長**

町づくり委員会が決定するのではなく、その方



役場窓口

向性との整合性を重んずる。

## デジタル化

**問** デジタル放送関係予算と今後の負担は。

**町民情報課長**

697.9万円計上し放送センター内機器の整備、今後各家庭を光ファイバー化に一元化し、ICTの町づくり、情報インフラ整備を図る。

## 保健・衛生

**問** 在宅健康管理システム「うらら」の導入計画は。

**健康福祉課長**

「うらら」は自己管理と担当者等のアドバイスにより健康管理に有効である。587台導入のうち435台を設置。NIT使用機種分は廃棄計画、それ以外はCATV使用機種である。今後、全世帯設置を計画し、20年度まで毎年100台を予定している。



テレワークセンター

**問** ゴミ減量化対策の効果と目標数値を立てて取り組むべきではないか。

**町民情報課長**

ゴミの量は若干増加している。減量化計画はリサイクル推進を強化し、数値目標も検討する。

## 農業

**問** 栽培指導員の内容は。

**経済振興課長**

栽培技術を有する指導者1名の専門員である。

**問** 森林病害虫防除費182万円減額の理由は。

**経済振興課長**

守るべき森林（観光地、住宅地、公共施設を有する所）を重点的に、基本的には春秋2回現地調査をし、県と協議して実施する。

**問** パイプハウスの引き受け状況と冬期間の収穫の生産体制、実績と課題は。

**経済振興課長**

平成16年（7棟）、17年（18棟）、18年（25棟

予定）中核的農家、認定農業者やグループ、集落営農等で推進する。無加温で葉物栽培は可能であり、よりついで販売実績をあげている。生産体制は普及所、JA、民間流通業者、生産者代表の組織づくりを栽培指導員を含めて推進する。

## 教育

**問** 各小学校の赤水対策は完了したのか。何よりも優先すべきではないか。

**教育長**

18年度に奥川小、群岡小を、19年度は新郷小の予定である。現在浄水器使用で飲料水として基準をクリアしている。水道管交換は大きな工事となるので年次計画で対応する。

**問** 国際芸術村関連予算の内容は。生活費は本人負担ではないか。

**教育課長**

事業費802万円。内訳は委託料（NPO国際芸術

村）に403万円。補助金生活・創作・支援スタッフ等支援金）240万円。旅費その他。

## 討論

**反対討論 佐野悦朗**

町長自身が北川先生の講演の内容を理解していないのではないのか。事務事業に無理無駄がなかったか。血の通った行政であったか。町長交際費や小学校の赤水対策の対応は町民の理解を得られない。敬老祝金支給の改正や国際芸術村の事業等、町民が納得する予算とはいえないので反対である。

**賛成討論 大沼洋平**

予算全体が説明された中で理解ができるもの、なじまないものもあるが予算が否決された場合、町の事業に及ぼす、影響のほうが大きい。緊縮財政の中で、入口を絞り、

出口を大きく開けて各々の要望に応えることは困難である。そこを理解すべきである。

**反対討論 清野興一**

緊縮財政になってきたことは理解できるが、事務事業の中で今やらなければならぬのかというものはある。芸術村の予算は生活費等自己負担の負担が町負担になっていく。事業そのものを中止すべきである。敬老祝金の件では、浮いた予算が老人のために役立つ使い方がなされる説明がない。予算が有効的に使われていない点が理解できない。

**賛成討論 清野邦夫**

町の予算は昨年より10%カットの緊縮財政である。町は経費の節減に努めている。事業の選択も必要なものは必要であるという点からなされ今後に期待できる。町長交際費は町長個人が勝手に使えるものではない。芸術村構想を町おこしの一環と理解し、今後の進捗と成果に期待する。

平成18年度

# 特別会計

## 質疑

### 商業団地特別会計

問 商業団地調査委託料の内容と調査をどのようにするのか。

経済振興課長

A区域（アーケード区域）は、希望がなかったため活用にはテナント方式を想定しながら調査の委託をする。基本的には町が整備すべきと考えている。

問 売却済区域については。

経済振興課長

当初の全体計画と変わってきたので、D区域は建設条件や周辺店舗との関連等相手と協議を進め、商業団地の目的と相乗効果がでるよう進めたい。

## 討論

### 反対討論 清野興一

町が莫大な投資をして、商売の人に入ってもらい、営業させることは、益々従来の業者の圧迫になる。今、箱物をつくるべきか。テナント方式でなく、景気の回復を待って、売却する方法をとるべき。

### 賛成討論 清野邦夫

道の駅は年間20万人ほどの出入りがある。今相乗的な効果を活用し町の活性化に努めるべき。より多くの人たちに来てもらえるよう早期に対応すべきである。

### 下水道特別会計

問 加入率と進捗状況は。計画の見直しは。

地域整備課長

進捗率76・7%、加入率41・7%で加入促進に努める。認可の関係で変更は難しい。計画どおり本町、塚田、堀越、牧、芝草の一部区域を進める。

### 国保特別会計

助役

問 繰越金の扱いは。

問 保険料滞納者と金額は。滞納解消の対策は。  
総務税政課長  
16年度決算で、現年分452件、滞納繰越分946件、年度末で金額3256万9千円。不能欠損158件、392万8千円。滞納整理については、税の公平性と国保制度の理解を求め、徴収手法も有効手段を講じて対応する。



商業団地

国保税は目的税である。

現在、第3期の減税で2千万円を基金から繰り入れ、軽減を図っている。繰越金は今後第4期の減税計画を視野に検討する。

問 各種検診事業は、医療費の抑制につながっているのか。

健康福祉課長

予防医療を重点に早期発見早期治療は、より医療費減につながっていると考える。

問 大幅な増税予算となっているが。

健康福祉課長

予算は一人当り8244円の増であるが、所得が確定していない中での編成であり、確定後本算定で決定する。

## 討論

### 反対討論 清野興一

見積もりがおおざっぱであり、一人当り8244円の増である。昨年も

最終的には剰余金が出ている。あまりに高く見積もっているのではないかと。診療収入も、3千万円もの増額予算は、医師に負担をかけないか。大幅に実態と異なる予算は、認められない。

### 賛成討論 清野邦夫

積算段階で課題見積もりかどうか審議会でも議論されたが、ルールでの3年間の平均で予算編成している。軽減を図る政策を町がとっているが、医療制度の変更が高くなる原因となっている。課題見積もりではない。

### 水道事業会計

問 水道整備全体での整備率と今後の計画は。

地域整備課長

町全体の戸数で94・9%。水源のない所は、整備できていない。それらは、集落等の負担を20%にしても工事費が高い負担になるので負担軽減のために補助等を導入しながら整備を進める。

# 条例改正

## 町職員の給料削減

### 基本給平均4.8%減

4.8%引き下げ、いわゆる「地域給」の導入をするもの。

基準となる介護保険料月額が3692円となり、これまでの保険料より1237円高くなる。主な

要因は、75歳以上の後期

高齢者の増加に伴い保険給付費の増加、地域支援事業の創設、県財政安定基金への償還によるもの。

### 非常勤特別職報酬 条例改正

昨年の人事院勧告に基づき監査委員や選挙管理委員などの非常勤特別職報酬を0.3%減額するほか、附属機関の委員報酬額を減額する。これにより年間11万円の減額となる。

### 敬老祝金等の支給 条例改正

現在、毎年80歳以上の方全員に7千円を支給していたが、これを年齢の節目ごとに80歳の方に1万円、90歳の方に3万円を支給する。

### 公益法人等への職員 派遣条例

指定管理者制度の導入や介護保険法の改正により地域包括支援センターに町職員の派遣を行う。

今定例議会に11件の条例案が提出されました。条例の内容の主なものは町職員給与について昨年の人事院勧告により公務員給与に地域ごとの民間賃金を反映させる「地域給」の導入をするものです。介護保険事業については18年度から20年度までの第3期事業運営期間における保険料の改正などです。

### 職員の給与に関する 条例改正

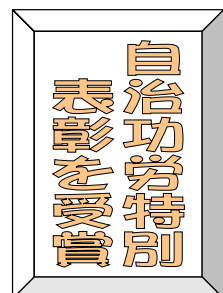
公務員給与に地域ごとの民間給与を反映させるため俸給表水準を平均約

### 介護保険条例の 一部改正

第3期事業運営期間における65歳以上の第1号被保険者の保険料を改正。



奥川地区敬老会



2月9日開催の全国町村議会議長会定期大会において、清野興一議員が議員在職30年の功績により、自治功労特別表彰を受賞され、3月議会定例会初日に表彰状が伝達されました。

清野氏は、昭和50年に初当選以来、現在8期目であり、今までの議員活動と各種機関、団体での活動が認められ、このたび表彰の荣誉に浴されたものです。おめでとうございます。今後もお同一層のご活躍を期待します。



清野興一議員

# 指定管理者

# 4月からの指定管理者決定

平成15年9月に地方自治法の一部改正が施行され、「公の施設」が「管理委託制度」から「指定管理者制度」に移行されました。施行の日から3年後の18年9月までに指定管理者制度に移行するか、自治体の直営にするかを決定しなければならなくなります。

「公の施設の管理運営」はこれまで町の出資法人（第三セクター）、公共団体、公共的団体、だけにしか委託することができませんでした。今議会会で指定管理者が決定しました。公募による施設については、4団体から申請があり、審査の結果、指定管理者には下記の団体が決まりました。なお、雪室貯蔵施設については申請がありませんでした。

## 【公募による施設】

施設名称	団体名	指定期間
温泉健康センター（ロータスイン）	（株）西会津町振興公社	3年
森林活用交流促進施設（コテージ）	（株）西会津町振興公社	3年
さゆり公園	（株）西会津町振興公社	3年
ふれあい交流施設	（株）西会津町振興公社	3年
林業研修センター	西会津町森林組合	3年

## 【公募によらない施設】

施設名称	団体名	指定期間
へき地保育所（すわ、芝草、尾野本、群岡、新郷、奥川）	社会福祉法人にしあいづ福祉会	3年
野沢保育所	社会福祉法人にしあいづ福祉会	3年
介護センター	社会福祉法人にしあいづ福祉会	3年
介護老人保健施設	社会福祉法人にしあいづ福祉会	3年
温泉リハビリプール	社会福祉法人にしあいづ福祉会	3年
高齢者グループホーム	社会福祉法人にしあいづ福祉会	3年
地域ふれあいセンター	社会福祉法人にしあいづ福祉会	3年
老人憩の家	社会福祉法人西会津町社会福祉協議会	3年

- 【期待されるメリット】
- ① 民間の手法を導入することによって質の高いサービス提供ができる。
  - ② 経費の節減が図られる可能性が高い。
  - ③ 住民が地域の施設の管理運営に主体的に参加することができる。

## 質疑

問 ①施設に関わる許可するしないは、あくまでも委託された管理者が行うのか。

②赤字がでた場合はだれが責任をとるのか。

②赤字については、原則として施設の維持管理・運営にかかる経費として積算してあるので、基本的には赤字は出てこないという考えである。町では毎年事業報告を求めながら判断するつもりである。

### 総務税政課長

①施設の許可については、設置条例の規定を議決した後に基本協定を結ぶ。委託料金についても基本協定の中で、結ぶ契約になっている。

使用料は指定管理者の収入になる。今まで町が負担した光熱費はすべて指定管理者が支払う。



# 平成17年度 補正予算

平成17年度一般会計補正予算は年度末を迎え、各種の事務事業を精査した結果、歳入歳出予算で、総額3390万3千円の減額になり、総額56億9481万8千円となりました。

主な内容は、住宅団地特別会計への繰出金や、地方債、償還金の追加計上等があり、減額では、移動通信鉄塔施設の整備工事及び中山間地域等直接支払事業交付金の確定による減額などです。

## 質疑

### 一般会計補正予算

問 法人税で40万円の

減となっているが、何が原因なのか。

### 総務税政課長

税割で多く見込んでいたが、景気が地方まで及ばず、均等割が全体の7割になり、その所得分が減額となっている。

問 通信格差是正事業で大幅な減額だが、なぜ2850万円の差額が生じたのか。

### 町民情報課長

通信事業者3社（NTTドコモ・au・ボーダフォン）の合作鉄塔事業で、当初の概算見積もりは昨年計上されたものであった。その後、設計を変更した。本年度の入札決定が9977万5千円となり、減額が2850万円となった。

### 介護老人保健施設 特別会計補正予算

問 介護老人保健施設の利用が減っているようにだが、利用率は現在何パーセントなのか。ホテルコストに関係があるのか。

### 健康福祉課長

現在の利用率、86・6%で、利用者は39・1人で10月以降は45人と増えている。

### 住宅団地特別会計 補正予算

問 住宅団地の広告料が当初の145万円から100万円の減額だがなぜか。

### 経済振興課長

新聞雑誌等、中央紙の場合高額なために新年度については、効果のある宣伝を考えている。

## 小学校適正配置等に関する調査特別委員会中間報告

### 「今後、住民懇談会を開催」

特別委員会において、今後の住民懇談会の開催のための協議をしました。

### 今後の調査内容

- ① 小学校適正化と統合に関し、町・教育委員会の基本方針及び少子化対策と保育所統合計画についての説明を求めます。
- ② 教育長及び町より出席を求めます。
- ③ 保育所統合計画の説明を求めます。
- ④ 「複式学級と統合問題を考える住民懇談会」の開催について
- ⑤ 開催方法

・ 区等に参加を要請する。  
・ 開催場所は学区内の公民館等を使用する。  
・ 懇談会資料は事前配布に努め、小委員会が作成し、委員会に諮る。  
・ 事前に教育委員会の協力を要請する。  
・ 委員会は3班編成とし、全員が各班に出席する。  
・ 班長は懇談会で出された意見等をまとめ、委員長に報告する。  
・ 少子化や合併などで小学校統合を最近行った町村があれば調査をする。  
右記の計画により、調査を進めることとし、具体的事項については今後の特別委員会で調査をしていく。



小学校運動会

# まちの考えを問う

## 質問項目一覧（質問順）

○鈴木満子議員

- ①農政問題について
- ②教育問題について
- ③当面する町政の課題について

○荒海清隆議員

- ①土づくりに「堆肥センター」の設立を

○佐野悦朗議員

- ①住みよいまちづくりについて
- ②豊かなまちづくりに向けて

○長谷川徳喜議員

- ①財政について
- ②町の財産取得と西会津町史について

○伊藤勝議員

- ①新年度予算の財政状況と政策課題について
- ②農業特区と経済効果について
- ③中高一貫教育について
- ④少子化対策について

○清野興一議員

- ①トータルケアの維持・向上策について
- ②介護保険について
- ③障害者自立支援法の実施について
- ④医療制度の改革について

問 18年度から介護保険の見直しで保険料は50%以上の値上げの提案だが、わずかな年金からも天引きされ、生活費を圧迫している実態である。激変緩和のために引き下げを実施すべきではないか。

健康福祉課長

18年度から20年度までの第3期介護保険事業計画期間の介護保険料の算定を行ったところ、第1号被保険者の月額基準額は3692円となり、これは第2期事業運営期間の2455円と比較して1237円の増額になった。増額の理由は、後期高齢者の増加に伴う保健給付の増加、低所得対策の創設、県財政安定化基金への償還金、第1号被保険者の負担率の増加、

## 介護保険料の引き下げをサービスが充実しているため

清野興一議員

問 地域支援事業の創設が主な理由である。町民が必要なサービスが必要な時、必要なだけ利用できる環境にあるため給付費の増加はやむを得ない。

問 高齢者の医療費負担を1割から3割に引き上げ、しかも65歳以上の人は年金から天引きの内容である。町長はど

う考えているのか。

町長

これまで独自の施策により、「予防医療」に取り組んできた本町にとっては保険料が統一され、被保険者への大幅な負担増も考えられるので、本改正は、容認できない。町民が安心できる医療制度改革を望む。



さゆりの園



# 旧群岡中の耐震診断は

## 使用目的からしていない

佐野悦朗 議員

問 旧群岡中学校は、現在、健康寿命延伸事業に活用されているが、耐震強度診断を実施したのか。以前の質問に補強工事を施すと応えているが住民の安全は保障されるのか。

まちづくり政策室長

健康寿命延伸事業の運動教室は、全町民が対象であり、社会教育の一環で、教育施設の使用目的であることから、建築確認の用途変更や耐震診断は行っていない。

問 耐雪型パイプハウス栽培事業では農業特区で進出してきた企業に、パイプハウスの貸し付けはできないか。

経済振興課長

県の補助要項で、パイプハウスの貸し付け対象



元気アップ教室

者は、農業者と規定されており、町のパイプハウス貸付要綱でも、ミネラル栽培実践農家としており、企業は貸し付け対象者には該当しない。

# 経営安定対策に対する町の支援は

## モデル集落をつくり組織化を

鈴木満子 議員

町としては県やJAとの連携の下、集落の方向性を考え、将来的には組織化できるよう支援していく考えである。また集落営農のモデル的な集落をつくることも他集落への相乗効果となり、重要なことから現在集落営農を始めようと動き出している集落の早期組織化を目指し支援していく考えである。

問 耐雪型パイプハウスを冬期間実施した結果・実績は。また今後の問題点は何か。

町長 16年度導入した7棟、17年度は18棟、18年度は25棟の計画である。16年度導入した7棟については、実験的な意味もあり、あえて加温設備を使用せず、薬物やナス・ピーマン・ネギ等20種類の野菜を栽培している。これらの実績をもとに新たな品種や高付加価値な農産物の栽培推進を図る。そのためには、18年度から栽培技術指導員を配置し、ミネラル栽培の産地化形成を図る考えである。

問 19年度から「品目横断的経営安定対策」の実施にあたって、町の認定農業者・集落営農の実態や認定農業者の組織化を進める上での課題と支援策は。

経済振興課長

認定農業者の実態は22名中15名程度と見込んでいます。集落営農の実態は現段階では該当する集落はない状況である。



農作業風景

# 中高一貫教育の実現を

## 課題を検討し、十分協議を

伊藤 勝 議員

れるが、西会津高校への入学者確保のための選択肢の一つでもあることから、今後、西会津高校と十分協議をして行きたい。

**問** 各自治体で保育料の改善、子育てクーポンの発行等、効果ある経済支援を行っている。町も改善工夫する考えは。

**健康福祉課長**

子育てに関する経済的負担の軽減を図るために児童手当の支給や乳幼児医療費の助成、保育料の

軽減、第3子以降の子に50万円を給付する出産祝金の支給など行っている。その他支援として、乳児検診や予防接種の受診率の向上、妊婦検診、新生児訪問、乳幼児検診相談など母子保健の充実等の支援事業を実施している。18年度からの新たな子育て支援策は、乳幼児医療費の窓口無料化や延長保育の時間の延長、乳児保育希望者の全員受け入れなどの事業を拡大して支援を行っていく考えである。

**問** 県内において、中高一貫教育を行っている学校がある。町でも中学校と西会津高校との一貫教育検討委員会を設置する考えはないか。

**教育長**

西会津中学校の卒業生の3分の2以上が町外の高校を希望している現状があり、単純に西会津中学校と西会津高校が中高一貫教育を導入するには多くの課題があると思わ



高校通学風景

## 経費削減のため交際費を半減に 随時事務事業の見直しを行う

長谷川 徳 喜 議員

**問** 自立の町を宣言した西会津町を町民は先行き心配している。経費削減のためにも、町長交際費を半減することはできないか。

**まちづくり政策室長**

町を運営していくために本来に必要なことは、町を豊かにし、町民みんなが豊かになることである。単に何もかも削減するだけでは、将来的に町の活力を失い町の衰退につながるものと考えられる。経費の削減については、随時事務事業の見直しを行う。

**問** 秋の収穫時に使われる乾燥機の騒音が深夜まで続き、安眠できない人がいる。個人で言えば問題があるので、行政指導することはできないか。

**経済振興課長**

現在農業機械による騒音の苦情は町に寄せられていないが、農家、非農家の混住、生活の多様化など、集落の実態も大き

く変わってきている。集落の維持や本町の農業を維持していくためには、集落内での話し合いに基づく合意形成が何よりも重要であると考えている。



まちづくり委員会

# 土づくりに「堆肥センター」の設立を

## 資源循環型農業の実現のため検討

荒海清隆 議員

問 町はミネラル野菜を軸とした資源循環型農業を進めて「堆肥センター」設立をすべきと考えるが、町の考えを伺う。

町長

地域トータルケアの「健康な町づくり」を進めていく中で「健康な身体は健康な食べ物から」「健康な食べ物はミネラルを含んだ健康な土から」の考え方からミネラル栽培の推進を図ってきた。

健康な土づくりに基づいた健康なミネラル野菜の振興を図っていくためには、微生物や微量元素のミネラル豊富な良好な土壌をつくるのが緊急の課題である。

現在、地球環境が叫ばれ、環境と調和のとれた農業生産活動や安全で安心できる農作物の栽培が

求められている。バイオマスを活用した生ゴミの堆肥化など資源循環型農業の確立は必要であることから、その推進に向けて調査検討していく。



喜多方市にある新郷処理施設

# さわやかハッピー

群岡小学校では、総合学習の時間に、6年生が「屋敷人形劇」に取り組みました。

屋敷人形は西会津町の文化財にも指定されており、屋敷地区の藤原清鬼さんによって大切に保存されてきました。この人形を使った劇は、藤原清鬼さんのお父さんである勇さんが、秋田県島海村の池田与八の猿倉人形劇に学んだものです。その存在を子どもたちが知り、インターネットなどでさらに詳しく調べ、自分たちなりに人形劇を復活させてみました。

屋敷人形劇の台本は師匠から弟子へと口で伝えられてきたので、勇さんの亡くなった今では当時の劇のシナリオがどんなだったのかは分かりません。そこで、今ある人形や清鬼さんの話を参考にしながら6年生なりに台

# 「屋敷人形劇の復活を」

群岡小学校

本を考え、人形劇にしました。は一生懸命に練習しました。

人形の動かし方は、「裾突っ込み指人形ハサミ式」と言い、親指と小指に手をはめて、人差し指と中指の間に首をはさんで動かします。顔を瞬時に取り替えて表情を出すのもこの人形劇の特徴です。この人形の動かし方はとても難しく、子どもたちもこの人形劇を受け継ぎ、子どもたちの手で伝えていくことができたいと思います。(結城)



人形劇発表

# 子育て支援の確保を

## 小泉総理などへ

### 意見書提出

# 請願 陳情

3月定例会において請願6件、陳情1件を採択し、各意見書を政府関係機関に提出しました。また道路財源の確保に関する意見書を採択し、意見書を提出しました。

■子育て支援の拡充を求める意見書  
内容 妊娠、出産に関わる費用を健康保険適用とし、3歳未満の乳幼児医療を無料化し、未就学児の医療費自己負担割合の引き下げや、保育・学童保育を整備することを求めるもの。

■国民に負担を強いる増税の撤回を求める意見書  
内容 国は定率減税の全廃、各種控除の縮小・廃止をする前に、着実な景気回復による税収の自然増を図るとともに、国民が納得できる歳出構造改革を求めるもの。

■公共サービスの安易な民間開放は行わず、充実に求める意見書  
内容 ぐらしや安全に関わる国や自治体の責任

■道路財源の確保に関する意見書  
内容 地方の実情を踏まえ、着実な道路整備のための安定的な財源確保を求めるもの。

■社会保障制度の一体的改革を求める意見書  
内容 基礎年金制度の税方式化など年金制度の見直し、医療・医療保険制度改革、パート労働者等の社会保障適用など社会保障制度全体の一体的改革を求めるもの。

■福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書  
内容 全国順位で32位と低位である現行福島県最低賃金を一般労働者の賃金水準、産業・経済実勢に見合うよう引き上げを求めるもの。

■福島県立医科大学附属病院の小児科医療体制の充実を求める意見書  
内容 県内の基幹病院としての県立医大附属病院に心臓血管外科医を含めた小児科医療体制の充実を求めるもの。



上野尻発電所の桜

## 編集 後記

新しい編集委員になって初めての議会広報先進地視察に行く機会を得ました。宮城県大郷町で、全国議会広報コンクールに入選したところです。拝見してなるほどと思っただことは、見やすくて、読みやすい、きれいな紙面でした。この視察を通して、限られた紙面に内容のある記事を書く難しさを痛感しました。少しでもこのような議会広報に近づけるよう委員一同がんばります。議会広報を読んだ感想をお寄せください。  
(荒海 清隆)

- 編集委員  
委員長 武藤 道廣  
副委員長 鈴木 満子  
委員 青木 照夫  
〃 荒海 清隆  
〃 佐藤 新一

にしあいづ議会だより

No. 93

発行 福島県西会津町議会  
編集 議会広報発行対策特別委員会

〒969-1449 福島県耶麻郡西会津町野沢字下小屋上乙3261  
☎0241-4514537